

三つの花（西部小学校だより） 滑川市立西部小学校 R6.12.27

学校教育目標



「三つの花」を咲かせる西部っ子

にこにこ花
ほかほか花
きらりん花

楽しく学ぶ
相手の心を思いやる
きらきらと自分らしく輝く

子供たちの姿・様子から感じたこと

先日、久しぶりに朝の気温が氷点下となり、道のいたるところで氷が張っていました。子供たちはその氷を割り、大事そうに持って登校し、「ガラスみたいでしょ。」と見せに来ます。そして、グラウンドの水たまりにも氷が張っているのを見つけると、大きな氷の塊を採取したり、氷を割ったりして楽しんでます。昔も今も子供は同じことに興味をもつんですね。「水たまりの水はどこから凍り始めるのか？」知りたくなりました。

子供たちが校長室に遊びに来ていた時のこと、24日の終業式と11月から勤めていただいている内野先生の離任式の話となり、子供が何気なくつぶやいた言葉が印象的でした。「内野先生が離任されるの、さみしいな。」心の声が漏れてきたのだと思いました。私は、その気持ちを言葉にして先生に伝えるとよいと提案しましたが、「ちょっと、恥ずかしい。」と、照れくさそうに答えるのです。小さなつぶやきであっても大切な言葉ですね。今回は、私からそっと内野先生に伝えることにしました。

また別の日のこと、担任の先生から「〇〇さん、けがをした□□さんをととても気遣ってくれています。」と嬉しそうに報告され、私も嬉しくなり、朝、〇〇さんに声をかけました。「□□さんのこと、すごく助けてくれているって聞いたよ。」「そうでもないです。」「ありがとう。」「はい。」言葉は少なかったですが、この後、やっぱり色々助けてくれている姿を見ました。やさしく素敵ですね。

2学期、学校では、子供たちの頑張りをたくさん見ることができました。24日には、子供たちに担任から「のびゆく子」（通知票）を渡しました。これは子供たちの様子をお伝えするものです。頑張ったので自信をもってさらに頑張ってほしいこと、もっと頑張れると思うから3学期に頑張ってほしいこと等、メッセージが含まれています。

〇の数を数えるだけで終わらず、お子さんと話をする中で、2学期頑張ったことや3学期に何をどのように頑張りたいのかを話題にしていただければと思います。そして、ご家族で「応援するよ。」と、伝えていただきたいのです。何と言っても子供たちは、ご家族のことが大好きです。大好きな人から応援されることでパワーが湧いてくると思いますので、よろしくお願いします。

お茶会にご招待いただきました。

先日、かがやき教室（放課後子ども教室）の茶道教室のお茶会に参加しました。裏千家の茶道教室で、これまで続けてきた6年生3人には、頑張ってきたことをたたえる認定書が授与されました。

このお茶会には、参加している子供たちの保護者の皆様も参加されており、子供たちは、少し緊張した面持ちでお茶を点てたり、お運びをしたりしていました。お茶はとてもおいしく点てられており、講師の先生からも上手だと誉めていただいていたいました。

今回のお茶碗には、サンタクロースやトナカイ、クリスマスツリー、プレゼント箱等が描かれていて、また、お菓子もサンタクロースの生菓子をいただきました。伝統を大切にしつつ遊び心を入れて、子供たちや作法が分からない私にも楽しんでもらおうというおもてなしの心を感じました。参加している子供たちはよい体験をしています。

かがやき教室は、茶道教室や、日舞教室、クラフト教室、スポーツ教室、農園教室、将棋教室、プログラミング教室等、地域の皆様を講師に放課後の子供たちの豊かな体験の場となっています。

スキー教室の指導者のお願い

本校では、自然と触れ合いながら、ふるさと富山の雪国である特性を味わうことができるスキー教室を4～6年生で実施しています。今年も立山山麓スキー場の極楽坂エリアで1月31日（金）に実施します。指導者は、ここ数年、4・5年生は、スキー場のインストラクターや教職員、6年生は、PTAの皆様や地域の皆様、教職員が担当しています。しかしながら、スキーをされる方が減ってきている昨今、PTAや地域の中から指導者を確保することが難しくなっています。

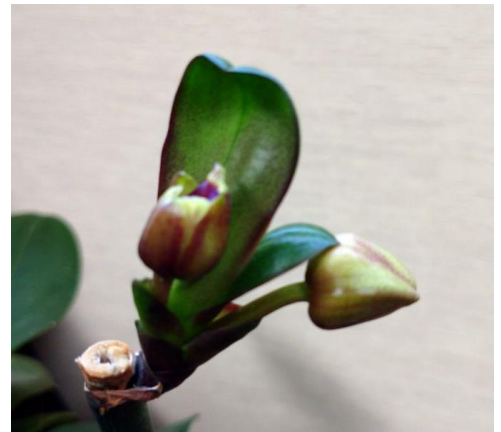
学校からお願いのメールを発信しておりますように、もし、子供たちのスキー指導をお引き受けいただける方がいらっしゃいましたら、学校（教頭 076-475-0489）へご連絡ください。（お子さんが4～6年生でなくても大丈夫です！）また、地域の方やお知り合いでスキー指導をお引き受けいただける方がいらっしゃいましたらご連絡ください。どうぞよろしくお願いいたします。

色々な植物の芽

校長室に、胡蝶蘭の花鉢があり、4月からどんどん開花し、40ほどの花が7月までずっと咲き続けていました。8月から少しずつ花を落とし、9月に最後の花が落ちたのですが、花の付いていた茎を切って水やりを続けていると、新しい茎が伸び、今、小さな葉が数枚と花芽が膨らんでいます。

しまった！！育て方を全く調べていなかったため、一度も肥料を与えていなかったのです。1つの花が10cmほどのあんなに大きな花だったのが、今咲こうとしている蕾は、1cmほどの小さな蕾なのです。でも、かわいいのです。

水やりしかしてこなかったことが悔やまれます。肥料を与えたいのですが、調べてみると冬はあまり肥料を与えない方がよいとも書いてあり、どうしたものか。専門家のご意見を聞いて、少しでも大きくたくさんの花が咲くように育ててみようと思います。



さて、植物の話をしたところで、花が少ない冬でも、植物の楽しみ方がありますので紹介します。それは、「冬芽」です。冬の間、じっと我慢をして暖かくなるとどんどん膨らみ始めます。春や夏に見るような大きな芽ではないのですが、やがて葉や花になる部分を寒さから守るように、鎧のような固い部分を周りにまもって中身を守っているもの、周りに細かな毛をまもって中身を守っているもの、何もまもわず我慢しているもの等、色々な形態があります。もっと面白いのは、この冬芽と葉痕を一緒に見ると動物の頭と顔のように見えることがあります。身近な樹木だと、ソメイヨシノ、アジサイ、ウメ、クルミの種、クズ等、面白い顔のような冬芽がたくさんあります。

冬休み、子供たちが運動不足になったら、一緒に散歩して普段は目に留めない樹木に注目してみると面白いですよ。

ゲンジボタルのその後

6月、市教育委員会の許可を得て、ゲンジボタルを十匹程度捕獲し、皆さんに光る姿を紹介しましたが、その後、うまく産卵してくれませんでした。メスの数が3匹と少なかったのが原因かと考えています。現在、学校では、ホタルのエサになる予定だったカワニナのみが育っています。来年は、もう少し勉強してゲンジボタルに産卵してもらえる環境づくりから挑戦したいと思います。